

五。飛大作命第四。疏

第五十飛行場大隊命令 五月八日 伊達島兵舎

一 國民學校收容人員へ明九日吳三。迄二兵營ニ復帰スベシ

二 自動車班長へ復車ニ輛ヲ明九日六。迄ニ國民學校ニ差去シ宿營地復帰ハタテ御司准尉ノ指揮ヲ受ケシムベシ

三 東飛行場作業隊長へ明後十日是。迄鳥少尉ノ許ニ差出シノ具材運搬ニ任ゼシムベシ

下達後 報告先

32A 190B 白達後印刷交付

業務分担表

昭一九、五、



備考	中隊				監督
	小坂見士	准尉	田	片	
右ノ如ク分擔スルモノトス	塩野曹長	伊藤曹長	青木曹長	片日准尉	主任 副任
	伊藤曹長	塩野曹長	片日准尉	青木曹長	
右ノ如ク分擔スルモノトス	一 飛行場 = 関係スル事項	一 被服 = 関係スル事項	一 命令 = 関係スル事項	一 功績 = 関係スル事項	業務区分
	二 警備 = 関係スル事項	二 報告 = 関係スル事項	二 會報 = 関係スル事項	二 陣中 = 関係スル事項	
右ノ如ク分擔スルモノトス	三 飛行場整備 = 関係スル事項	三 郵便 = 関係スル事項	三 物品 = 関係スル事項	三 衛生 = 関係スル事項	業務区分
	四 勞務者 = 関係スル事項	四 使 = 関係スル事項	四 物品 = 関係スル事項	四 衛生 = 関係スル事項	

業務分担表

昭一九、五、
伊江島警備中隊

備考	中隊			監督
	大久保	少尉	尉	
右ノ如ク分擔スルモノトス	木村曹長	村尾曹長	青森曹長	主任 副任
	村尾曹長	青森曹長	木村曹長	
右ノ如ク分擔スルモノトス	一 人事 = 関係スル事項	一 被服 = 関係スル事項	一 物品 = 関係スル事項	業務区分
	二 陣中 = 関係スル事項	二 郵便 = 関係スル事項	二 物品 = 関係スル事項	
右ノ如ク分擔スルモノトス	三 衛生 = 関係スル事項	三 郵便 = 関係スル事項	三 物品 = 関係スル事項	業務区分
	四 衛生 = 関係スル事項	四 郵便 = 関係スル事項	四 物品 = 関係スル事項	

五月十日
嘉子納
暗時之憂

飛行場設定作業ニ從事
大隊長・當合在射部請出候ノ途ニ路業務指導ノヲソ
來應有消ス

員 七十一名



五月十一日
嘉子納
晴

又三ヶ所合前廣場於テ部隊長訓示
要旨

諸君ハ上陸第一歩余ノ教示セシメトテ確守シ軍紀
風紀共ニ他ノ部隊模範トテリツ有ルハ部隊長ノ
最も嘉喜ヒトスル所デアリ

今又我々ノ任務ハ本格的ニ軌道ニ入リツハアル時依
業ノ於テモ益々軍紀風紀ヲ確守シ能ク盡忠誠ヲ
盡シ

以下飛行場設定作業實施ニ當リ必要ナルモ三ノ事項

ヲ速ベ仕務完遂ノ糧トナス
ノ作業中隊長ヲ中心トシ協力一致獻身作業ニ邁

進セヨ

派遣隊ハ編成上人員減少ニシテ且ツ各隊員ノ
特異性ニ鑑ミ皆能ク一致團結作業完遂ヲ期セ

ス作業軍ノ改正

勤務者ト共ニ作業ヲ貫徹スルニ當リ地方勤務者ノ
気分ニ慮ケレ自然ニ情緒ニ落心者無キニシテ大

致ニ勇人ノ本分ヲ確守シ人々ノ情スルト無ク作業軍紀
改正タルベシ

3. 敵前ニテ作業スルハ心構ヲ持セ

船舶輸送間ニ松テ諸士ノ死ニ敢知ノ如ク敵潛水艇ノ
現出發動ニ敵亦我カ本土空襲ニ荒程耽々タル秋
ニ當リ警戒ノ任ニ當リ者ハ勿論作業ニ従事スル者ニ

昭和二年十一月六日

警戒心ヲ旺盛ニシ邁進ヲ期セヨ

必堅任不拔精神ヲ堅持セヨ

此精神ヲ堅持スルト共ニ困苦缺乏ニ堪ヘ得ル精神ヲ
持シ作業完遂ニ努力セヨ

5. 器具器材ヲ愛護セヨ

器具器材ハ我々ノ生命ナリ武器ナリ

故ニ深重ニ取扱ヒ整備ヲ完全ニシテ愛護セヨ

勤務者ニ致ルニ此精神ヲ指導徹セヨ

6. 私的制裁ノ絶無

ス危害豫防

作業特許上充分ナル注意ヲナシ事故絶無ヲ期セ
只衛生ニ注意シ常ニ作業力ノ向上ニ努力スヨ

氣候風度ノ急変ト作業ノ変化トニ伴ヒ疾病ノ發
生シ易キ以テ皆能ク身体ニ留意シ全員完遂ノ

飛行場ニ飛行機ノ昇降スルヲ見ル様各人ノ注意ヲ要
ス防諜

内地ニ歸リタル故ヲ以テ防諜ヲ忘ルノ事アルハカラス
當ニ北極ニテ以上ノ心構ヲ堅持シ在ルベシ

以テ今周ノ事業遂行ニ當リテ注意ヲ速クシテアルガ
當取遣隊ノ漸次ノ部隊長ノ下ヲ離レ作業ヲ實施スルニ
當リ前述ノ如ク派遣隊長ヲ中心トシテ能ク一致團結事
業見逐ニ邁進スルノ事故者ニ兼テ元氣旺盛部隊長
ノ下ニ歸リ來ルニトテ切望スル

村田村部隊長

〇〇第三軍司令官 飛行場設定作業状況視察
來隊セラレ作業場巡視ニミテ歸還セラル
軍司令官注意

要旨

(昭一四・一〇・奉天大野的)

陸軍中用紙

陸軍

一 火災予防

ニ 各所清潔整頓

ス 人員

七土名

受領任命

別紙

作務書一號
嘉手納支隊

中飛行場設定隊命令要旨

五月十一日
嘉手納

陸軍曹長 堀野直治ハ兵五名自働貨車ニ乗テ指揮
シ明十二日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ台車箱用材搬送ノ
タメ那覇ニ出張ヲ命ス

飛行場設定作業ニ従事

任命第四號ニ依リ高根軍曹以下ニ九名派遣隊要員
トシテ〇八〇伊江島校橋發ニミテ嘉手納宿舎著陸位
身邊梱包ノ整理
罷改命第六號依リ堀野曹長那覇ニ出張ス



五月十二日
嘉手納
飛行場
嘉手納支隊

人員 100名

五月十三日 飛行場設定作業ニ從事

嘉手納

一五〇頃ニ至リ雨アリ次第ニ雨勢ヲ増シ一六〇頃雨勢大キ

晴後雨

作業困難トナリ一時中止ス一八〇頃ニ至リ晴

人員 100名

業務命令書

中飛行場設定命令書旨

五月十三日

嘉手納

一陸軍兵長松木次雄ハ明由日作業兼中隊ヨリ差出ス
勞務者二十名自動車二輛ヲ指揮シ倉庫用箱材輸送
シテ即日歸隊ニ豫定ヲ以テ那覇ニ出張ヲ命ズ



五〇飛大作命第四一號

第五十飛行場大隊命令

五月十日二六〇
伊江島兵舎

一大隊ハ派遣隊ノ一部兵力ノ異動ヲ行ハントス

二派遣隊長ハ補充給中隊下士官以下三〇名ヲ明

後十三日出發本隊ニ復歸セシムヘシ

三豊田重曹ハ放言備下隊ヲ指揮シ明後十三日

出發洋畑由飛行場ニ至リ派遣隊長ノ指

揮ニ入ルヘシ

四指揮轉移時期ハ兩隊到着時トス

下達法 口達及電報後印刷(送)付

報告先

32A
199B

五月十四日

飛行場設定作業ニ從事

嘉手納

一七言頃ヨリ小雨アリ夜ニ入ツテ晴

晴後曇

人員 一〇名

五月十五日

嘉手納

飛行場設定作業ニ從事

晴

金足ノ勤勞者(八九四)受領証ニ配屬前勤勞者ト交代

晴

三言前勤勞者ニ對スル表彰狀授與式

晴

四言新配屬勤勞者ニ對スル訓示 後作業ニ從事

人員 五〇名



五月十六日

飛行場設定作業ニ從事

嘉手納

〇九〇〇勤勞者受領(九三三)新配屬(五〇名)交代

晴

合三〇名 影火機與式

西〇新能屬勤務者ニ對スル訓示

人員 一〇〇名



五月十七日 飛行場設定作業ニ從事

嘉手納 一七三〇頃ニ至リ小向ヤリ次第ニ兩勢ヲ増シ爾ヲ伴ヒ

暗夜ニテ深夜ニ至ル雨アリ

項最盛ニテ第一面四種混合機防護

種ヲ實施ス

人員 一〇〇名



陸軍

陸軍

陸軍

五月十六日

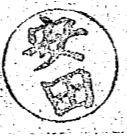
飛行場設定作業ニ從事

嘉手納 一七三〇頃ニ至リ小向ヤリ次第ニ兩勢ヲ増シ爾ヲ伴ヒ

暗夜ニテ深夜ニ至ル雨アリ

項最盛ニテ第一面四種混合機防護

種ヲ實施ス



五月十九日

飛行場設定作業ヲ中止ス午前兵器機庫ヲ入

嘉手納 月例身体検査並ニ内務實施

暗夜ニテ深夜ニ至ル雨アリ

項最盛ニテ第一面四種混合機防護

種ヲ實施ス

人員 一〇〇名



人員 一〇〇名

五月二十日 進行場設定作業ニ従事

嘉子 納 終日時と小雨有りニモ作業ニ支障ヲ来ス

曇時 小雨 本日作業時間延長セラレタルヲ作業終了

六三三頃ヨリ小雨アリニモ三三頃ヨリ雨勢ヲ増シニモ降雨

三間断 有り

兵被服ヲ濡シ更衣無キ為冬被服ヲ着用セトモニモ見

度ケラルモ志氣旺ナリ

人員

百名

五月二十日 進行場設定作業ニ従事

嘉子 納 中頭那美里村宇内原在郷軍人國防婦人会青年團

長

代表者米隊軍工事慰問タメ雞卵ヲ寄贈セラレ

一七三三頃ヨリ雨ナリ

人員

百名

五月二十日 進行場設定作業ニ従事

嘉子 納 三三三頃稍々強キ雨アリテ作業ヲ中止ス

有 舎 兵器被服手入後休養

曇後晴 元ヨリ適番世々番官中因准尉ノ指揮及テ兵慰安ノ

目的ヲ以所要ノ設置兵ヲ残シ是后ノ見學ス

三三三頃終了歸隊ス

兵志氣旺ナリ

人員

百名

